

農業科学習指導案

令和3年11月 第2学年 指導者 武藤 一真

1 単元名（題材名） 「グリーンライフ活動」（第2学年・2学期）

2 学習指導要領上の位置付け

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、地域資源の活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地域資源の活用について、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 地域資源の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 地域資源の活用について新たな価値の創造に寄与できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3 目標

野菜の栽培を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 群馬県の野菜栽培における重点8品目についての知識及び栽培に関する技術を身に付ける。
(知識及び技術)

イ 栽培方法の違いによる収量や品質の差について、グラフを適切に読み取り栽培方法を振り返ることで自己の考えを整理し、それを相手に伝えることで共有することができる。
(思考力、判断力、表現力等)

ウ 野菜栽培に興味・関心を持ち、主体的・協働的に実習やグループワークに取り組む態度を身に付ける。
(学びに向かう力、人間性等)

4 指導計画 ※別紙参照

6 板書計画（スライドにて表示）

<スライド> モニターと黒板を併用し、生徒達の意見は黒板に書き込む

11月1日 G2グリーンライフ

ナス 栽培工程 振り返り

①

Qどんな栽培工程を行ってきたか？

②

Q他の野菜と比べナス特有の栽培工程はどんなもの？

③

本日のテーマ **【更新剪定】**

《あなたが農家なら やる??やらない??》

④

比較実験について 期間：8月6日（更新剪定実施日）～10月31日

⑤

更新剪定の手順とポイントのおさらい

⑥

それでは表やグラフを確認し、
《更新剪定を行うべきか！》
《更新剪定を行わないべきか！》
を考えワークシートに取り組もう。

⑦

<ワークシートの取組方>

【グラフからの読み取り】と【気付いたことをまとめてみよう】

個別学習にてグラフ等から読み取り考える時間⇒協働学習での確認と意見共有

【考えてみよう】と【まとめ】

協働学習にてメリット・デメリットをまとめる⇒個別学習でメリット・デメリットをまとめる

⇒個別学習で本日の課題についての意見を再構築⇒発表

11月1日 ナスの更新剪定 まとめ

クラス 番号 名前

本日の課題
《更新剪定行うべき? 行わないべき?》を考える

①【早速!! 考えよう】
自分が農家の立場であった時に、更新剪定を行うかどうか? 自分で考えてみよう
理由を含めて答えなさい。
※その他の考えがあれば考えて記入すること。

行う・行わない・その他 ()

②【chromebookを活用しグラフから読み取ろう】
Q1 総収量が多かったのはどちらか?
無処理区・更新剪定区・ほぼ差はなかった
Q2 最も収量が多かったのは何月の何区?
・
Q3 最も収量が少なかったのは何月の何区?
・
Q4 最も収穫本数が多かったのは何月の何区?
・
Q5 最も収穫本数が少なかったのは何月の何区?
・
Q6 更新剪定を実施してから収穫ができるようになるまで何日かかったか?
※更新剪定を行ったのはいつ?【 月 日】
・

③【気付いたことをまとめてみよう】 ※班での話し合いでは自分と「違う」意見もしくは「新たな発見」には印を付けましょう。

Q1 8月と10月の収穫を比較して気付いたことはあるか?

自分の考え → 班の考え

Q2 収量以外でナスに関して気付いたことはあるか?
※写真等今までの資料を見返してみよう(chromebook内の写真で確認!!)

自分の考え → 班の考え

④【考えてみよう】
Q1 更新剪定を行うメリットは何だろうか?
班の考え(メモ)
まとめ『 』

Q2 更新剪定を行うデメリットは何だろうか?
班の考え(メモ)
まとめ『 』

⑤【最後のまとめ】
自分が農家の立場であった時に、更新剪定を行うかどうか? 自分の言葉で最後のまとめをしよう
理由を含めて答えなさい。
※その他の考えがあれば考えて記入すること。

行う・行わない・その他 ()

指導計画 農業科 第2学年 単元(題材)名「グリーンライフ活動」(全28時間計画)

<p>目標</p>	<p>野菜の栽培を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 群馬県の野菜栽培における重点8品目についての知識及び栽培に関する技術を身に付ける。 (知識及び技術)</p> <p>イ 栽培方法の違いによる収量や品質の差について、グラフを適切に読み取り、栽培方法を振り返ることで自己の考えを整理し、それを相手に伝えることで共有することができる。 (思考力、判断力、表現力等)</p> <p>ウ 野菜栽培に興味・関心をもち、主体的に実習や協働学習に取り組む力を身に付ける。 (学びに向かう力、人間性等)</p>			
<p>評価規準</p>	<p>(1) 群馬県の野菜栽培における重点8品目について知識及び栽培に関する技術を身に付けている。 (知識・技術)</p> <p>(2) 身に付けた栽培に関する知識と技術を生かし、栽培管理方法について、重要なポイントを整理することで、栽培方法の違いによる収量や品質の差について考え、周囲に発信することができる。 (思考・判断・表現)</p> <p>(3) 野菜栽培に興味をもち、主体的に実習や協働学習に取り組む姿勢を身に付けている。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>			
<p>過程</p>	<p>時間</p>	<p>○ねらい ☑めあて</p>	<p>・振り返り(意識)</p>	<p>評価項目 〈方法(観点)〉 〔記〕記録に残す評価</p>
<p>つかむ</p>	<p>6</p>	<p>○様々な野菜栽培を通して、野菜栽培の共通点・相違点を確認し、栽培の基礎的な知識と技術を学ぶ。〈単位時間の目標〉</p> <p>野菜栽培を通して、農業の基本となる知識と技術を身に付け、野菜栽培への興味・関心を高める。</p>	<p>・野菜栽培に関する用語や基礎的な知識と技術について、様々な野菜における共通点や各野菜の特徴的な工程が分かった。</p>	<p>・野菜栽培に関する基礎的な知識と技術を理解している。〈テスト(3)〉〔記〕</p> <p>・授業のまとめや自分自身の取り組みに関する振り返りに積極的に取り組んでいる。〈アンケート作成ソフト・観察(1)〉</p>
<p>追究する</p>	<p>16</p>	<p>○栽培の各工程を記録・整理することを通して、栽培における知識と技術の共有と振り返りを行い、知識と技術の定着を目指す。それらの知識と技術を正しく表現できる力を身に付ける。</p> <p>野菜栽培を通して身に付けた知識と技術を持ち寄り、班で協力し栽培管理シートの作成を通して表現力を高める。</p>	<p>・野菜栽培に関する用語や基礎的な知識と技術について、様々な野菜における共通点や各野菜の特徴的な工程が分かった。</p> <p>・野菜栽培に関する分かったことをグループワークにより、共有することができた。</p> <p>・栽培工程のポイントを整理し、協働的に動画撮影を行い自分達で振り返りのために教材を作ることができた。</p>	<p>・野菜栽培に関する基礎的な知識と技術を理解している。〈テスト(3)〉〔記〕</p> <p>・授業を通して理解した内容を自分の言葉で表現し、班員に伝えることができる。〈スプレッドシート・発言(2)〉〔記〕</p> <p>・班員の言葉を受け入れ、自らの表現とすり合わせ、話し合いを進めることができる。〈スプレッドシート・発言(2)〉〔記〕</p> <p>・協働的により質の高い動画撮影を行うことができる。〈発表(2)〉</p>
<p>まとめ</p>	<p>6</p>	<p>○野菜栽培の各工程の流れについて、身に付けた知識や技術を活用し、どのような栽培方法が最もよいか判断し、実行できる力を身に付ける。また、その根拠も表現できる力を身に付ける。</p> <p>野菜栽培の振り返りを通して、自分なりの最良の栽培方法や改善点等をまとめ、今後の野菜栽培への意欲を高める。</p>	<p>・野菜栽培の全工程を振り返り、様々な栽培方法の違いにより収量や品質に違いがあることが分かった。</p>	<p>・ナスの収量比較のまとめを適切に完成させることができる。〈ワークシート・発言(2)〉〔記〕</p> <p>・野菜栽培に関する知識と技術を理解している。〈テスト(3)〉〔記〕</p>